



磯原駅の待合室
(中部市民サービスセンター)

磯原駅の待合室 が朝6時から利用可能に

市民の声を党市議団がつなぐ

磯原駅の早朝電車を利用する年配の方から「特に冬場は、磯原駅の2階で電車の時間を待つていて、通路から風が吹き抜けてきて、たまたまものではない。駅に隣接する市の中部市民サービスセンターの待合室を何とか利用できるようにしてほしい」との声が福田市議に寄せられました。

福田市議は昨年12月の建設委員会の中でさつそく取り上げて「ぜひともサービスセンターの待合室を何とか利用できるようにしてほしい」との声が福田市議に寄せられました。

センター待合室の開く時間を早朝から改善して、市民の要望に応えるべきである」と求めました。

その結果、それまで朝8時～夜6時までのサービス



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週日曜日発行
インターネットでもご覧いただけます。

<http://www.jcp-ktib.com/>

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462



北茨城高校演劇部の熱演

男女共同参画
推進事業

女と男 いきいき ステップアップ 公開講座

1月14日、市民ふれあい

センターにおいて『女と男 いきいきステップアップ公開講座』が開かれました。参加者は約200人。劇あり、歌あり、お話ありの盛りだくさんでした。

北茨城高校の演劇部員による「女性が支えた会社」大森社長とゆかいな仲間たちの夢が身近に語られていてゆかいました。

1月14日、市民ふれあいセンターにおいて『女と男 いきいきステップアップ公開講座』が開かれました。参加者は約200人。劇あり、歌あり、お話ありの盛りだくさんでした。

北茨城高校の演劇部員による「女性が支えた会社」大森社長とゆかいな仲間たちの夢が身近に語られていてゆかいました。

大塚利恵さんとの対談です。

大塚利恵さんは、オーブニングとエンディングで素敵な演奏を聞かせてくれました。

親子ほどの年齢差にどんな対談になるかたいへん興味深いと長谷川先生。事前の質問に沿いながらも、ゆつたりと答える利恵さん。男

の差別は、働いている音楽業界では感じたことがないとキッ

パリ。結婚・出産を控えると別の面が見えるのでは、との長谷川先生の指摘には、会場からも共感の声がもれました。

何が大切かと問われて「一番は音楽の仕事、子育て、結婚の順番。自分らしく生きるとは、20歳の頃はがむしやらに生きることだった。でも今は、たくさんのひとの関わりで生きていて、そのネットワークが大事。そこを大切にしてこそ自分らしく生きられる」。

「我が家」という言葉をめぐって、そのアクセントの置き方で、"まわりに生きられていることを自覚して我(われ)の思うままに生きること"と、"他を無視して我(が)を通して生きること"とは違うということが話されました。

会場は、高萩共同作業所「ほつと工房 M.I.N.D」で育てられたたくさんの花で飾られました。同工房では、心の病を抱えた方が、病気と向き合いながら社会復帰をめざして作業訓練をしています。閉会後、花は参加者に抽選で配られました。



長谷川幸介先生と大塚利恵さん